

2023年度 和泉短期大学 シラバス【専攻科】				
授業科目名	障がいの基本的理解		教員氏名	谷岡裕子
科目ナンバー	II-4・5-5			
学年	専攻科		開講学期	後期
授業形態	講義		単位数	2単位
必修・選択	専攻科		実務経験	社会福祉士 16年
テーマ	障がいの基礎理解と障がいのある人の生活の理解。障がいがある方々に対する共感的理解の仕方を学び、考察を深める。			
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。			○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。			
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。			○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を養うための科目		
	科目群Ⅱ 原理	多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養うことができる科目		
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者・障がいのある人を取り巻く環境を知り、様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につけることができる科目		
	科目群Ⅳ 実践	身につけた価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積む中で学び直し、キャリア形成の基礎を培うことができる科目		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士として障がい者の相談支援事業に携わっています。相談支援専門員の実務経験をもとに、さまざまな事例を用いて障がいの基本的理解や支援の実際についての授業を展開します。 ・グループワークや当事者の話などの体験を通して、自らが主体的に考察する授業をします。 			
授業の到達目標	・障がいの理解、障がい者支援の基礎的な知識を説明できる。			
	・当事者との対話や事例・演習等に積極的に関わり、障害のある人の心理・障がい者への尊厳や共感的理解について討議できる。			
	・障がい者を取りまく法律や制度、サービス体系などについて学び、実際の生活や本人や家族支援に関連付けることができる。			
テキスト	介護福祉士養成講座14「障害の理解」中央法規			
参考書	なし			
ポートフォリオ	なし			
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする			○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する			○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める			
	ICT(グループワーク含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する			
	その他:			
成績評価方法	区分	割合(%)	内容	
	定期試験	0	実施しない	
	授業内課題 参加度 出席態度等	70	授業内レポート・小テスト(50%)・授業への参加態度(20%)	
	その他	30	レポート課題	

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	授業概要の説明・テキスト概観・アイスブレイク (授業のねらいや内容・アイスブレイクを通してコミュニケーションの基礎)	
	授業外学習	テキスト概観	210分
第2回	テーマ 内容	障がい者の定義・実態 障がい者福祉の理念 (支援の現場から見たICFの意義など)	
	授業外指示	障がいの種類と手帳、ICFについて再考察	210分
第3回	テーマ 内容	障がい者支援の基礎と障がいのある人の心理 (障がい者支援における基本的な視点や考え方)	
	授業外指示	支援の基礎、各用語について復習	210分
第4回	テーマ 内容	障がい者を取りまく制度・福祉サービス・地域のサポート体制 (福祉サービスと障がい者相談支援事業)	
	授業外指示	障がい福祉制度とサービスについて再考察	210分
第5回	テーマ 内容	知的障がい当事者との対話から心理の理解・共感的理解へ (当事者の話と質問からのトークショー)	
	授業外指示	当事者の話から学んだ制度やサービス、就労形態などについて調べる	210分
第6回	テーマ 内容	暮らしや仕事を支える支援の実際と多職種連携と協働① (事例とグループワークを通してチームアプローチの視点)	
	授業外指示	チームアプローチの実際について再考察	210分
第7回	テーマ 内容	暮らしや仕事を支える支援の実際と多職種連携と協働② (事例とグループワークを通してチームアプローチの視点)	
	授業外指示	チームアプローチの実際について再考察	210分
第8回	テーマ 内容	精神障がい当事者との対話から心理・共感的理解へ (当事者の話と質問からのトークショー)	
	授業外指示	当事者の話から障がいの理解について再考察	210分
第9回	テーマ 内容	障がい者の権利擁護 (あおぞら宣言・成年後見制度・日常生活自立支援事業)	
	授業外指示	意思決定支援の方法について再考察	210分

第10回	テーマ 内容	障がい者の意思決定支援とアドボカシー (事例やグループワークを通して意思決定支援の実際)	
	授業外指示	虐待が起こる背景や実際の合理的配慮について再考察	210分
第11回	テーマ 内容	障がい者虐待防止法・差別解消法 (虐待事案等を通して背景を探るグループワーク)	
	授業外指示	障がい者の人権・権利擁護について再考察	210分
第12回	テーマ 内容	家族の心理と家族支援 (家族の心理、家族支援の必要性)	
	授業外指示	家族支援の必要性について再考察する	210分
第13回	テーマ 内容	振り返りとまとめ (振り返りレポートの発表と共有)	
	授業外指示	授業を振り返って考察をまとめ、今後の学びにつなげる	210分

課題に対するフィードバックの方法

- ・提出されたレポートはコメントをつけて返却する。
- ・授業時間内に質問の時間を設ける。